

令和7年度 第2回港区区政会議 全体会議 議事録

1 日 時 令和8年3月9日（月） 午後7時～

2 場 所 港区役所 5階 会議室

3 出席者（委 員）対面：石井委員、上田委員、王委員、柏原委員、古島委員、後藤委員

下村委員、高崎委員、高橋委員、疊谷委員  
鳥取委員、西川委員、西田委員、野村委員、早田委員  
平尾委員、松尾（健）委員、松尾（美）委員  
宮崎委員、村田委員、山野委員、和田委員

（市会議員）対面：西議員、藤田議員

（港区役所）対面：山口区長、磯村副区長、菅原総務課長

武内総合政策担当課長、五十嵐協働まちづくり推進課長  
今田エリア開発推進担当課長、村上教育担当課長  
宇野保健福祉課長、山崎保健・子育て支援担当課長  
吉川生活支援担当課長、扇谷窓口サービス課長  
前田総合政策担当課長代理

4 議 題

(1) 議長・副議長の選任について

(2) 事前意見の内容と区役所の対応・考え方について（全体会分）  
部会が出された主なご意見について

(3) 意見交換～5年後、港区がどんなまちになってほしいか～

○前田総合政策担当課長代理 皆様、こんばんは。

定刻となりましたので、ただ今より令和7年度 第2回 区政会議の全体会議を開催させていただきます。ご多忙のところ、先月の各部会に続きまして、全体会議にお集まりいただきましてありがとうございます。私は総務課総合政策担当課長代理の前田です。どうぞよろしく願います。本日の配付資料につきましては、それぞれの説明の際に確認させていただきます。

はじめに、会議に先立ちまして副区長の磯村よりご挨拶を申し上げます。

○磯村副区長 はい、皆様こんばんは。副区長の磯村でございます。過日の部会に加えまして、本日もご参加いただきありがとうございます。

本日は、令和7年度の最後の区政会議ということでございます。委員のみなさんはこれからも任期が続くわけですけれども、ご承知の通り、山口区長の任期がこの3月末で終了ということになっております。山口区長には、総括も含めて今日の最後に、お言葉をいただくことにします。まず私から一言、ご挨拶を申し上げます。

令和7年度は、港区制100周年の年で、万博の年でもございました。また戦後80年の年でもございまして、これほど大きな事柄が重なるっていうのは、なかなか無いことと思っております。それに加えて、先月は解散総選挙と大阪ダブル選が付け加わりまして、それも極寒の中で執行することになりまして、区役所職員にとっては大変、充実した1年やったと思っております。この区政会議も、今年度から新たな委員の皆さんにご就任いただいて

おります。いつも申し上げますけれども、住民の皆様が一番近い区役所が、皆様の声を受け止めて、区民の皆様や関係機関と共に、より良い区政を進めていこうという趣旨で、区政会議は設置されております。今日は、先日の各部会での議論の総括と、これからの港区のまちの姿を自由に発想していただくという、ちょっとワクワクするようなテーマで、担当が設定してくれましたので、我々、区役所職員の硬い頭では考えられないような、皆さんならではの意見を是非いただきたいと思っております。それと私事ではございますけれども、私も今月末で市役所を退職することになっております。港区の皆さまとはさまざまな場所でお会いしましたけれども、本当に温かい方々ばかりで、それでいて地域の活動でありますとか、本当に主体的に一生懸命していただいているなあということで、市役所人生の最後に、この港区で働かせていただいたことも感謝しかございません。2年間という間でしたけれども、本当にありがとうございました。港区で暮らす皆様と活動する皆様の意見やご議論は、本当にかげがえのないものだと思っております。今後の港区区政に必ず活かしていくように、後任の副区長にはしっかりと伝えて去っていきますので、ご安心いただけますようお願いいたします。あんまり長くなったらいけません。限られた時間ではございますが、どうぞよろしく申し上げます。

○前田総合政策担当課長代理 それでは、現在の出席状況をご報告させていただきます。区政会議につきましては、委員定数の2分の1以上の出席により成立すると規定されており、現在、委員定数24名のところ19名のご出席をいただいておりますので、有効に成

立していることをご報告いたします。また本日の会議は公開とします。会議の様子を動画撮影し、港区役所の YouTube アカウントにて、後日一定期間掲載させていただくほか、議事録も公開するため、録音もいたします。全体での進行をご発言の際は、必ずマイクをご使用していただきますようご協力をよろしくお願いいたします。もし会議中、少しでも体調がすぐれないようなことがございましたら、遠慮なくおっしゃってください。

次に、条例第 8 条において市議員は、区政会議における議論に資するために、必要な助言をすることができると規定されており、本日は西議員にご出席いただいておりますことをご報告いたします。なお、藤田議員につきましては、到着されましたらご紹介させていただきます。それでは、これより本日の議事に入らせていただきます。

皆様、配付資料 1 番「令和 7 年度 第 2 回港区区政会議【全体会議】」の次第をご覧ください。議題（1）議長・副議長の選任についてです。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第 7 条に基づき、委員の皆様の互選により全体会の議長及び副議長を選任いただきたいと考えております。

議長は議事の進行のほか、委員の皆様の様々のご意見を引き出させていただくコーディネーターの様な役割でございます。どなたか立候補される方がおられましたらよろしくお願いいたします。

○平尾委員 はい。立候補します、平尾です。

○前田総合政策担当課長代理 ありがとうございます。今、福祉部会の平尾委員から立候補いただいております。挙手をもって、皆様のご意向をお尋ねしたいと思います。賛成いただける方すみません、挙手の方をよろしくお願いいたします。はい、ありがとうございます。

ます。では議長は平尾委員にご就任いただきます。よろしくお願いいたします。

続きまして副議長の選任をさせていただきたいと思います。副議長は議長を補佐し、議長が欠席等のある時は区政会議を主催する役割でございます。どなたか立候補かご推薦などございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○平尾議長 はい、よろしいですか。

○前田総合政策担当課長代理 はい

○平尾議長 すみません。議長をただ今拝命しました平尾です。私から西村委員を副議長に推薦させていただきたいと思います。西村委員は2期目の委員で、1期目に安心安全・まちづくり部会の副議長をされていた経歴もお持ちですので適任かと考えます。

○前田総合政策担当課長代理 西村委員を推薦するご意見がございましたが、みなさまいかがでしょうか。賛成いただける方は挙手をお願いいたします。

はい、ありがとうございます。賛成多数のようですので、副議長には西村委員にご就任いただきます。

本日ですね、西村委員のほうはご欠席されておりますので、副議長に選ばれた旨は事務局より伝達させていただきます。皆様ありがとうございます。

それでは平尾委員は議長席へご移動をお願いいたします。ありがとうございます。それでは議長から簡単に一言ご挨拶をお願いいたします。

○平尾議長 はい、議長の平尾です。浅学非才の身ではございますが、よろしく、お取り回しをお願いします。

私はですね、福祉部会に2期目となっております。福祉部会、いつも医師会さん、薬剤師会さん、あと包括さんとか医療福祉に関わる方々と楽しくワイワイとやっているつもりなんですけど、中々ふざけてばかりなのでみなさまよろしく、修正のほどよろしくお願

ます。みなさまの意見を丁寧にかがいがながら建設的な話し合いを1つに深めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

○前田総合政策担当課長代理 議長ありがとうございました。ただ今、藤田議員がお見えになりましたのでご紹介させていただきます。

○藤田議員 こんにちは、よろしくお願いいたします。

○前田総合政策担当課長代理 はい、ありがとうございます。委員の皆様の互選により、議長及び副議長を選任いたしましたので、ここからの進行は議長にお任せいたします。平尾議長よろしくお願いいたします。

○平尾議長 はい、それではよろしくお願いいたします。みなさまの意見やニーズを区政に反映させていただくためにも、積極的なご意見をいただきたいと思っておりますので、皆様のご協力何卒よろしくお願いいたします。

次第に沿って進行してまいります。議題の(2)です。

当日配付資料5「事前意見内容と区役所の対応・考え方について」の全体会の分、および当日配付資料6「部会で出された主な意見と当日の回答」について、区役所の方から一括で説明をお願いします。

○武内総合政策担当課長 私、総合政策担当課長の武内と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

資料5「事前意見内容と区役所の対応・考え方について」をご覧ください。委員の皆様からいただきました意見・質問に対して各部会に関する内容は既に各部会で回答しております。本日は区政会議で、区政全般に関わるご意見・ご質問に対して港区の考え方を簡単に説明いたします。資料の裏面、左の番号7番ですね。

「予算の増減、維持の理由を知りたい」「予算を使い切らないと減らされる仕組みになっ

ていないか」というご質問を承りました。こちらまず予算の増減につきましては、次のA4サイズの紙、別紙です、令和8年度と7年度の予算額を比べて100万円以上の増減がある項目につきまして、その理由を書いておりますのでご確認ください。

もう1つご指摘いただきました、いわゆる予算の使い切りですが、結論から申し上げますと、委員が懸念されているような使い残しがあれば次の年に予算を減らされる、だから残っているもの全部使う。というような仕組みにはなっておりません。行政の予算編成は必要かつ重要で、今のタイミングでやるべき本当に必要なもののみを計上しています。港区におきましては、次の年度の予算をより効率的・効果的に編成していくために、夏頃から秋にかけて、区長を中心に取り組むべき事業と予算を詳しく確認し、その事業に必要な金額の予算を計上できるように努めております。

もう1点、8番「港区で今、特に課題になっている事案は何ですか」というご質問をいただいております。右に区の考え方を示しておりますけれども、港区では1965年には11万人を超えていた人口が減少の一途を辿り、現時点ではおよそ8万人、さらに20年後の2045年には、約7万人になると見込まれているなか、引き続き区民の安全・安心と地域の支え合いを維持し、港区の魅力を高めながらまちづくりを進めていくことが重要だと考えております。

各政策分野ごとの課題は、令和8年度の運営方針の経営課題に詳しく書いておりますが、ここではポイントを絞って3点書いております。

1つ目は「地域防災力の強化。地域コミュニティの維持・活性化にいかに取り組むか」、2点目は「外国籍住人の増加に対応した多文化共生の推進」、3点目は「健康づくりに向けた意識啓発。とりわけ各種検診の受診率向上」をあげております。

続きまして資料6。先月開催いたしました、各部会で出された主なご意見と当日の回答

ですけれども、ちょっとこれ詳しく説明すると長くなりますので、またご確認いただければと存じます。当日の意見交換の内容が分かるように記載させていただきますので、よろしくお願いたします。

ここでですね、一言申し上げますと、今回の各区政会議の部会、そして本日の全体会の開催にあたり、委員のみなさまから本当に多くの意見を寄せていただきましてありがとうございました。ご指摘いただいた事柄や、一部事業の改善に向けては、区役所だけでは解決できずに関係する部署と調整が必要なことですか、実現にあたり時間や費用を要することもあります。可能なことから取り組んでおります。例えば、委員から「防災に興味のない人にも情報をしっかり伝えるように」というご意見をいただきましたが、現在、港区内に50カ所ほど設置しているポスター・掲示板に、今ですねミヤクミヤクとみなりんのステッカーを貼っているんですけども、これを3月末までに防災のメッセージや、大阪防災アプリを日本語と英語で紹介するステッカーに貼り替える予定にしております。また別にですね「港区の魅力をもっと広めてはどうか」と「有名な観光施設以外に何があるの」という意見も今回いただきましたけども、実は広報みなとの4月号で「まちを歩こう」をテーマとした記事載せて、意外と知られていないスポットを紹介する予定です。ちょっと今日の時点ではどういう記事載せるのかは秘密にしておきますけども、ぜひ4月号をお楽しみにお待ちください。

繰り返しになりますが、行政が仕事を前に進めるうえで様々なルールですとか予算の制約があったり、せっかくご提案いただいてもどうしてもできないこともあります。区民の皆様、区政会議員のみなさまからいただいた意見に応じていける努力を続けますので、今後とも港区をより良くするためのご意見をたくさんお寄せいただければと存じます。どうぞよろしくお願いたします。

○平尾議長 はい、武内課長ありがとうございます。只今の武内課長の答弁に対しましてご質問、ご意見ございませんでしょうか。大丈夫ですかね。

それでは議題（3）のほうに移りたいと思います。議題（3）は意見交換です。テーマは「～5年後、港区がどんなまちになってほしいか～ありたい姿」です。はじめに区役所より意見交換の進め方についてご説明があります。続きまして、当日配付資料7に沿って、テーマの内容のご説明をよろしくお願いします。

○武内総合政策担当課長 はい、引き続き、総合政策担当課長の武内でございます。本日、港区のありたい姿を、各グループで意見交換していただく前に、私から5分少々お話しをさせていただきます。

お手元の資料7あるいは前のモニターいずれか、観やすいほうをご覧ください。早速ですが、資料の3ページこちらの画面のものをごらんください。現在の港区まちづくりビジョンでは5本の柱を掲げ、毎年の運営方針に基づき区政を進めています。現在のまちづくりビジョンは令和5年の4月から来年3月までの4年間ですので、新たに来年の4月から4年間にわたる港区の施策の大きな方向性のまとめるビジョンを、委員のみなさんのご意見を伺いながら作っていくこととなります。本日の区政会議、全体会をキックオフとして、この将来ビジョンを考えていくこととなりますが、その前に港区の現状について皆さんと一緒に、人口に関するデータを中心に確認していきましょう。ということで。次のページ、グラフをご覧ください。

5年ごとに実施しております国勢調査によりますと、港区の人口は1980年の9万6000人から、2020年には8万1000人と40年間で、16%減っています。このグラフの先になるんですが、その後、一時期8万人に割り込みましたが、2025年時点では8万人台に戻っています。

次のグラフは、港区の将来人口の予測を表したものです。2018年時点の予測では、2045年にはなんと5万6000人にまで減る見込みでしたが、最も新しい2023年の予測では、同じ2045年時点でも7万人を維持すると。減り方がかなり緩やかになる見込に変わっています。じゃあなぜ、このように予測が変わったか。大阪・関西万博による効果も考えられますし、より直接的には外国籍住民の増加によるものと考えられます。

次のページをご覧ください。2016年には、港区内にお住まいの外国籍住民は約25000人でしたが、2025年時点では5000人を上回っており、この10年間で約2倍にまで増えておりまして、区民に占める外国籍住民の割合は、16人に1人になります。

次のページにいきます。国別で見ますと中国が最も多く、続いてベトナム・韓国・朝鮮・ネパール・フィリピンが上位に名を連ねています。その次のページの前に右のグラフ。帯グラフをご覧くださいませでしょうか。外国籍住民の方を年代別に見ますと20歳代・30歳代が飛びぬけて多くなっておりまして。さきほど港区民の16人に1人が外国籍の方と申し上げましたが、20代・30代に限りますと実は、港区民の7人に1人が外国籍住民ということになります。こちらのページはもう参考ということで、その次、

年齢3区分別人口。こちらのグラフをご覧ください。港区民の年代別の人口に注目しました。いわゆる高齢化率。65歳以上の方の割合は2020年の時点で27.7%。区民の4人に1人を上回っています。続いて1980年、2000年、2020年と20年ごとの人口ピラミッドを並べてみました。40年前はいわゆる釣鐘型で、高齢者の割合は少なかったのですが、なかほど2000年にはこどもの割合が減ったことを示す、つぼ型になっています。真ん中のグラフ見てもらうと、いわゆる「団塊の世代」と「団塊ジュニア世代」が目立ってますよね。これが2020年になりますと、同じつぼ型でも、そのまま高齢化が進んだ様子が見て取れます。後期高齢者の割合が増加しているということになり

ます。

最後に「家族のかたち」についてまとめたグラフを2つ紹介いたします。1980年、一番左端の頃はですね、黄色「核家族」と呼ばれる夫婦のみ、あるいは夫婦と子どもという世帯が全体の7割近くを占めていましたが、この核家族が一番右、2020年の時点では4割余りまでに減り、実はですね、港区で最も多い家族形態は単独世帯、つまり1人暮らしになっています。53.1%。分かりやすく言い換えますと、港区内の各家庭を順番に訪問すると、2件に1件はもうすでにお一人住まいということになります。次のグラフにいけます。

こちらのグラフは、そういったお一人暮らしの方のみを抽出したグラフなのですが、お一人暮らしの中でも最も多いのが、65歳以上の高齢の方のお一人暮らしになります。つまりはですね、港区の全世帯のうち、およそ6件に1件が高齢・単身の世帯ということになります。これ現状ですので、どう評価するかではなく今、港区ってこういう人口で見るとこういう状態になっているんだなということを皆さんと共有させていただきました。

それでは、次ですね。意見交換に移ってまいりたいと思います。模造紙の用意をお願いします。区役所の各課長級の職員の方、それぞれのグループのほうへ移動をお願いできますでしょうか。すいません、各テーブルの真ん中にボンと模造紙をおきますので、ちょっと場所を空けてくださるとありがたいです。

始める前にもう少しだけお付き合いください。耳だけこちら傾けていただければと思います。模造紙に大きく書いてあります通り、ご覧の各部会ごとのテーマを設けています。意見交換を始める前に3つのルールをお伝えします。

今回、付箋を使って意見を出していただきますが、ルールの1つ目「意見を出すときは1枚の付箋に1つの意見・提案を書いてください」。1枚の付箋には意見・提案を1つだけ書いてください。

ルール2つ目「他の人が出した意見を否定したり、批判したりしないようにお願いします」。例えば、まあなんでもいいんですけど「大きなショッピングモールが出来たらうれしいな」という意見のあとに「それは無理」とかですね、そういう意見を出すのではなくって、関連する意見として「身近な商店街にもお店が増えてほしい」とか、上乘せする意見として「映画館やスポーツ施設もあればうれしい」といった形でどんどん夢や提案を広げてください。

最後3つ目「書いた付箋を出すときは周りの人に聞こえるように、読み上げながら出してほしいです」。声を出すことによって、周りの皆さんがその意見からアイデアを得て、新たな意見を出すことにつながります。

繰り返しになりますが、本日のテーマは「港区の“ありたい”姿」です。行政が考えます「“あるべき”姿」ではなくて、夢や希望、日頃の想いを付箋に託して、こんな港区になったらうれしいなという意見をどんどん出してください。手始めにですね、まずは短めの自

己紹介から。「弁天地域のだれだれです」ということと、例えばね「社会福祉協議会のだれだれです」と「この港区に住んでよかったと感じる瞬間はなんとかです」あるいは「港区を選んで住んでいる理由はなにになにだからです」という、そのそれぞれテーブルの真ん中に自己紹介のテーマの紙を置いてますので、では今からおよそ30分間ほどですね、7時55分を目途に各グループで話し合いをお願いします。よろしくお願いします。

○平尾議長 ありがとうございます。それでは、各部会ごとに進行をお願いします。

### ～意見交換～

○平尾議長 すいません、いろいろお話しが盛り上がってるところではございますが、そろそろ発表に移りたいかと思えます。どうしましょ。うちとこからやるよってとこあれば。

○西川委員 はい。

○平尾議長 では、福祉部会からお願いします。

○西川委員 はい、こちら福祉部会です。すみません、発表は早いほうが良いかと思ひまして。先に手を挙げさせてもらいました。福祉部会です。

「ひとりでも健やかに暮らせる港区ってどんなまち」っていうことで、どんなまちになったらいいかなっていう話を皆さんでいたしました。

1番多かったのは、人とのコミュニケーション。これとても大事やからそういうふうなことが多いまち。声かけがたくさんあったら嬉しいね。とか相談できる場所があったらいいね

とか、困ってること誰かに相談出来たらいいね。認知症に優しいまちていうのが、このあたりにきました。そして楽しいイベントもいっぱいあったらいいよね。そして自分の役割があったらいいねとか、食べることに心配がないまちがいいねとか。今ここで出てます困りごとなんかで、高齢者はセルフレジばかりで、スーパーに行ってもなかなかお買い物が出来にくいんじゃないかとか、あるスーパーでは有人のレジ、人がいるレジが1つしかない。割と大きなスーパーなんですけど。ちょっと高齢者にはあんまり優しくないのかなというようにお困りごともあった。あとは、スマホでなんでもやってしまうから、スマホの使い方が分からへん人は、しんどいんじゃないかとか。困りごとやんね、これ。っていうようなお話しが出ました。

そして環境の中では、やっぱりポイ捨てのない綺麗なまちがいいよね。とか自分で頑張ってみてほしいなっていうところでは、自分らしく楽しく住めるまち。元気であること。自己管理ができています。可愛いお年寄りになる。人の善意に感謝する。1人でも暮らせる。病気になっても1人でも安心して暮らせるというところでは、ACPいわゆる人生会議、がとっても重要じゃないのかなっていうような話しが出ました。そしてここからは役所でお願いをしないといけないのかなっていうのが、保険料が下がってたら嬉しい。老人医療保険制度の復活、資格確認書、全部配ってほしい、なんていうような意見。そしてここ、福祉は大事なところで福祉サービスに困らないわって障がいのヘルパーさんとか、すごく少なくて、利用したいって方が利用できてないことがあるんじゃないかなろうか。そして高齢者に優しいまちであってほしい。コンシェルジュがたくさんいてたらすごい高齢の方って住みよいいよね。っ

ていうような意見が出ました。以上です。

○平尾議長 ありがとうございます。次どっちがやります。そしたらまちづくりのほうですね。安心安全・まちづくりの。お願いします。

○松尾（健）委員 安心安全・まちづくり委員では「安心と賑わいを感じられる港区ってどんなまち」ということを題材に話し合いました、大きく分けて、経済についてと安心のくらしと犯罪が少ないというところで、大きく分けてありまして、経済に関しては港区の玄関口として活性化させたりだとか、開発計画だとか人が集まるイベントだとか、独立開業を応援するまちとか、商店街が賑わってほしいとかショッピングモールがほしいっていうところが大きく経済としてあります。そして安心してくらせるっていうところで公園をもっと整備して、野球やサッカーが出来る安心して遊べるところだとか、こどもが主役だったり独身者が手軽に知り合えるまちであったり、外国人が住みやすくて、リアルなコミュニティを大切にできるような、感じられるようなまちにしていきたいのが1つあります。

そして、あとはゴミと犯罪を減らすというところで交通ルールを守るところから、ゴミを少なくしたり、緑が多いうのとかそういうところで犯罪率が低くなって誰でも夜道を歩けるような、そんな安心できるまちにしたいなと考えております。

○平尾議長 ありがとうございます。それではこども青少年部会お願いします。

○鳥取委員 こども青少年部会なんですけども、大きく3つあって、宣伝増やさなあかんとこがあって、おいしい店とか地域の良いところ、人が集まる場所とかっていうようなことを

するべきではないのではないかと。あと外国人問題。外国人のいろんなことが出来ていないことが、非常に問題があるんじゃないかと。行動に関して。だからそういう人達のルールをつくっていくべきじゃないかなという話。最後にイベントはいろいろあるんだけど、いろんなイベントはやってほしいけど、担い手もないんじゃないかっていうところで、担い手を育成していくってことも1つじゃないかと。

私個人的に思うんですけど、港区各地域はね、それぞれどこことというより、港区1つになって、ひとつの行事を今後はやっていくっていうのも1つの形なんではないかなと思うんですが、ここでお集りの周りのみなさんは担い手として、いろいろ各地域でご活躍だと思うんですが、そういう意味では今後とも担い手をね、もう一回、色々あるかと思うんですが、そこも凌ぎながら担い手を探して行けたらと思います。

結論的には、とにかくこどもには優しいところなんですよ。ということで、答えが出ましたので以上とさせていただきます。ありがとうございました。

○平尾議長 はい、ありがとうございます。それでは今の発表につきまして、皆さんでどの部会に対しても結構ですので、なにかご質問、追加の意見等々あれば、よろしいですか。はい、時間も押してますので。そんな感じでよろしいですかね。はい。

では、全体を通じて区役所のほうからなにかコメントがございましたら。

○武内総合政策担当課長 はい、皆さんありがとうございました。いただいたご意見に対するコメントは、最後山口区長から言っていただくとして。本日はですね、私たちのま

ち、港区の「ありたい姿」、「あるべき姿」じゃなくて「ありたい姿」を話し合っていました。今日の意見交換が今後つくっていく将来ビジョンにどう関係があるのか。その点について、少しだけ話しをします。前の画面の図をご覧ください。

「ありたい姿」っていうのは、つまりこの右上の理想の部分ですね。しかしながら、理想っていうのは往々にして現実とかけ離れていることが多いです。例えば、道路や公園が常にきれいな港区っていう理想に対して現実では、たばこの吸い殻が捨てられてるとかそんなこともあると思います。ただですね、現実を踏まえつつも、この右上の理想を実現するための方策、黄色の矢印ですね。この方策とか道筋をまとめたものが、さまざまな政策とか、これから作っていくビジョンになるものと考えています。今日しきりに「あるべき姿」じゃなくて「ありたい姿」っていうのを繰り返し申し上げましたのは、目の前の課題だけを議論してしまうとあんまりにも夢のない小さなビジョンになってしまうので、今日は思いつき皆さんに港区のまちの将来、夢や希望を語っていただきました。いただいたご意見はこれから先、一緒に進める将来ビジョン策定の、検討資料として活用させていただきます。次のスライドにいきます。

令和8年度は、この港区区政会議を3回開く予定にしております。イメージとして、6月前半にビジョンの全体像とかキーワードを出して、10月後半にはビジョンの骨子とか主要事業の議論をして、区政会議の委員さんだけでなく、パブリックコメントを通じて、広く区民の皆さんからも意見を寄せていただいて、2月後半には最終案を固められ

ばということを考えております。区政会議の委員のみなさんと理想の港区を実現するための道筋を一緒に考えていきたいので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。私からは以上です。

○平尾議長 はい、ありがとうございました。それではですね、市会議員の先生に一言ずついただきたいと思います。それでは、西先生からお願いします。

○西議員 どうもお疲れ様でございます。非常に有意義な時間といたしますか、過ごさせていただけました。ありがとうございました。時間が経つに連れてですね、皆さんのお顔の表情がどんどん生き生きとされてる姿を拝見いたしまして、非常に感動いたしました。そういった意味ではですね、これまで会議といたしますかね、議案を打ち出して、それでお聞きして終わりということじゃなくって、みなさんでいろんな意見を出し合って、そして「あるべき」というよりはさきほどありましたように「ありたい」という、なにをしてはいけない、これをしてはいけないじゃなくって、自由活発に多様性と、そして皆さんと一緒にやっていくという一つの大きなテーマを示していただいたのかなと思いますけれども。私自身も微力ながら、藤田議員共々、しっかりと皆さんのサポートといたしますか、させていただければなと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○藤田議員 はい、皆様お疲れ様でした。冒頭ですね、ちょっと大阪市も今、予算の議会やってまして、遅参いたしまして大変失礼いたしました。申し訳ありませんでした。私も

見させていただいて、本当に皆さんからたくさんの意見出てるのうれしく思っております。

区政会議、実はですねもう結構、平成23年かな。だいぶ前からやってまして。始まった当時はですね、区役所が55分喋って、皆さんから5分意見もらって終わるみたいなめちゃくちゃ面白くない会議やったんですけど。それを我々のほうから苦言を言い続けて「意見をもらう会議にしてください」と。言い続けて、今日はもう区役所120点でしたね。素晴らしかったと思います。武内さんもお疲れ様でした。この調子でまた皆様からのご意見吸い上げて、もっといい港区にしていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願ひします。ありがとうございました。

○平尾議長 西先生、藤田先生ありがとうございます。本日は活発なご意見交換ありがとうございました。これにて本日のスケジュールは全て終了しております。では、進行のほう区役所のほうにお返ししたいと思います。

○前田総合政策担当課長代理 議長、議事進行ありがとうございました。区政会議委員の皆様、市会議員の皆様、本日の議事進行について、ご協力いただきましてありがとうございました。限られた時間でしたので、十分にご発言いただけなかった方もいらっしゃるかと思います。本日の当日配付資料に、右肩に⑧と書いたシートを入れております。ご意見シートということで、また本日時間がなくご発言できなかったことなど、ぜひ皆様からのご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。こちら期限です

ね、3月19日とさせていただいております。メールですとかファックスとか、どのような手段でも結構ですので、ぜひご意見をお寄せください。

お寄せいただきました意見につきましては、次回の区政会議、6月頃開催予定でございますので、そちらのほうでも回答させていただきたいと思っております。

では最後に区長の山口より、お礼と閉会の挨拶をさせていただきます。

○山口区長 皆さん、さまざまな意見をありがとうございました。非常にほんとにいきいきと、また苦言もありながら「私ら耳痛いな」ということも含めて、率直にいろいろと話していただいてありがとうございます。

いよいよもうあと1ヵ月、3週間ぐらいで私の任期は終わるわけですがけれども、この4年間、港区をまずお預かりして、いの一番というか、絶対大事だと思ったのが防災ですので、防災に関してはさまざまな施策、啓発をやってもやってもキリのないものなんですけれども、続けてまいりました。そして地域の方が過去の災害の歴史から非常に意識が高く、地域防災取り組んでいただいていることも実感してきたところです。いろいろ意見が出たなかで、とにかくつながることが「1人でも安心して暮らし続けられるまち」であり、にぎわいづくりにつながるものであり、また子育てがしやすいまち。またいろんな国の人がかうして一緒に暮らしていくうえで、やはりお互いのルール。特にやっぱり日本のいろんなルールを知ってもらうことの大事さというのを感じたところです。

先日、日本語学校が港区に初めてできまして、見学に行ってきました。私、娘が18歳

なったところなんですけれども、背中向けて座っている女の子が19歳ぐらいで、先生に聞いてみたんですね。私、自分の娘を、いま家にいるし、来年からも家おるんですけど、なんかこう、家出すというだけで胸痛いのに、こんな知らない言葉の、国に送り出している親の気持ちどうなんだろうと、ふと思ってしまって「なんでこの子は国を出て、日本のこんな難しい日本語を勉強しているんですかね」と聞いたら、やっぱり国が落ち着いていないから、希望があんまりない。やはりなかなか国が荒れていてというか、不安定であるから、それぐらいやったら日本行って、力つけて仕事をしなさい。という思いで、断腸の思いできっと出しているんだろうなと。彼らも人という漢字には「にん」という読み方と「じん」という読み方があります。「ひとり」というのもあります。というのを聞いて「きゃあ」となっていて。何て言うんでしょう。ほんとに頑張ってる勉強しているその背中を見ながら、やっぱり若いし、不安だし、同じ国の人たちでどうしても固まってしまうし。そこで、日本語分からないからルールも分からないし。若いから当然、日本の若者と一緒でやんちゃもするだろうし、というところをほんとに一緒に受け入れるということ。もちろんいろんな壁はあると思うんですけども、1つ1つ行政としても乗り越えていかないといけないと思いますし、皆さんもお互いを分かり合う機会をつくって、共生できたらいいなというふうに思うところです。

ちょっと来たときのことを思い出していたんですけども、万博前でコロナの中で来たんですけど、何を検索しても、東京の港区に飛ばされるというのを本当に「大阪って港区あ

んねや」とか、散々いろんな人に言われました。万博の機会に世界中の人、国内外の人がこの大阪市港区にやってくると。そのときに「港区といえば大阪のことやろ」というふうにもう勘違いさせてやろうぜ。みたいなことを言って、港の下剋上という話をよくしていたんですけども。実際、万博で本当にたくさんの方がこの港区を通過して、万博会場に行くと、結構多くの方が「万博って港区でやっていますよね」と何人にも言われたので、ちょっとしめしめとは思っているんですけども。東京の港区は確かにいろいろ、人口も多いかもしれへんし、税収も多いかもしれないし、おしゃれかもしれないですけども、つながるという意味。いろんな人とつながれる。ここでも皆さんがまちのことを真剣に考えて、ほんとに話しをしていただいている。そして私はこの4年間、11の地域でのいろんな行事にも顔出さしていただいて、また介護とか医療とか、福祉の方たちの熱い、そういう会議にもたくさん出してもらい、防災の熱心な訓練とかほんとさまざまに見せていただいているなかで、つながるということにかけてはとっくの昔に、東京の港区を超えていると思っています。万博のレガシーの1つにヘルスケアがあると思っています。このまちは確かに、高齢の1人暮らしの人が多いかもしれない。ということは、たぶん日本どころか世界で最先端の課題を抱えているまちともいえます。でもそれをつながりの力で解決できれば、課題解決エリア港区として、ほんとに世界一のまちになると信じてやってきましたし、これからも信じてバトンを心込めて渡したいと思っています。まちは皆様のものです。行政はどうしても、ちょいちょい人変わるんでね「変わるやないか」とよう怒られるん

ですけれども。今いる立場で一生懸命みんなで務めますが、組織としてしっかり引き継ぎながら、主役はまちの皆さんであるということ。改めてこの全体会議の皆さんの話し聞きながら感じて「いいもんもらったな」と思いながら、最後の1日までしっかり務めたいと思います。本当に4年間ありがとうございました。

○前田総合政策担当課長代理 以上で本日の会議を終了いたします。